

『授業連携報告書』

学校名	西笹川中学校				
授業のテーマ	コミュニケーション能力の大切さを知ろう。JAXAのお仕事を知ろう。				
目標(授業連携をした目的等)	本校の教育目標である多文化共生を実現するために様々な言語をもつ子たちがコミュニケーションの重要性を再認識できる活動にしたい。キャリア教育の一環として職業についても今後の進路選択について視野を広めたい。				
実施対象	学年	中2	3	クラス	合計 82 名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)			
単元	宇宙	授業日	2	月	16 日

授業連携の前後の授業内容について

前	事前授業としてJAXAのHPをタブレットで調べ、「FANFUN！JAXA」を視聴し、JAXAで働かされている方のインタビューを見た。野口さんのyoutubeチャンネルを視聴し、現在のISSの活動を確認した。
後	事後学習として、授業の振り返りを行い、気になることや学んだことをまとめた。その知識を活用して、今後の宇宙に期待することを話し合い、意見交換をした。

時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 10 分	・JAXA講演者の自己紹介	・全員で講師の方を呼び、中継をつなぐ形でスタート。 ・講師の方の紹介を聞く。	・隊形指導 ・配布物の確認
展開 100 分	●宇宙について 「宇宙から見た地球」動画視聴 ●JAXAのお仕事 「PPを使用して、JAXAのお仕事を紹介」 ●宇宙飛行士スキルチェック 「コミュニケーション能力を鍛えよう」 *グループ学習 ～休憩～ ●感想 ●質問コーナー 「課題の図形パズルを使って、相手に課題の形を伝え、作成する」 ●ISSで行われていること 「PPを使用して、ISSの活動を知る」	・集会隊形でPPを視聴しながら、JAXAの仕事で気になることをMEMOプリントに記録する。 ・コミュニケーション能力を鍛えようのコーナーでは、例題を個人で図形パズルを使って、作成する。 ・3人グループを作り、役割を決め、指示役、作成役、監視役に分かれ、3回課題の図形パズルでスキルチェックを行う。 ・感想、工夫したことを発表する。 ・質問を各グループで考え、発表し、講師の方に答えていただく。	・グループ(25グループ)を作り、隊形指導。 ・スキルチェックの時は、課題のパズルを事前に頂いたデータから選び、活動数分用意する。 ・使用するパズルは事前に人数分切っておく。 ・グループの活動が円滑に進むように指導する。 ・質問や意見を述べ、講師の方とやりとりするときに間に入って、スムーズにやり取りができるようにする。
まとめ 10 分	・本日の振り返り ・終わりのあいさつ		・講師の方へあいさつ

授業連携の感想・メモ

今回初めてのオンラインでのJAXA連携授業となり、多くの機材の準備、当日の運営を支援課のみなさんに手厚くサポートしていただきながらスムーズに行うことができました。このサポートはかなり大きかったです。内容は今までにお世話になった時とは違うところもあり、とても新鮮でした。宇宙教育というのは、生の声を聞くのが一番心に残るものだと思います。主体的な活動がグループでもスムーズにでき、多文化共生教育の中で重要となるコミュニケーション能力を楽しみながら行うことができました。生徒の感想からもかなり充実した時間を過ごせたようで、将来の目標の1つにJAXAのお仕事を加えた生徒もいます。素敵な刺激を子どもたちにも与えていただけ、幸せな時間を送ることができました。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
コミュニケーション能力を向上させていくためには、こうした取り組みの中で得た問題をどのように解決していくか。しっかりと課題解決能力を短時間で向上させる取り組みになった。キャリア教育の一環として、将来の進路を深く考えるきっかけとなった。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	